

## 高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の遺伝子解析及びNA亜型の確定について

### 1 概要

- (1)宿毛市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜について、動物衛生研究部門(注)が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。
- (2)これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家畜を高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。
- (3)また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N8亜型であることが確認されました。

(注)国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門  
:国内唯一の動物衛生に関する研究機関

### 2 その他

- (1)日本ではこれまで家畜肉、家畜卵を食べることにより、鳥インフルエンザウイルスが人に感染した事例は報告されていません。
- (2)現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあること、農家の方のプライバシーを侵害しかねないことから、厳に慎むようご協力をお願いします。  
特に、ヘリコプターやドローンを使用する取材は防疫作業の妨げとなるため、厳に慎むようお願いいたします。
- (3)今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、生産者などの関係者や消費者は根拠のないうわさなどにより混乱することがないように、ご協力をお願いします。

#### 【問い合わせ先】

高知県農業振興部 畜産振興課

担当 萩原、公文 TEL 088-821-4551